

目 次

相談状況	1
事業実施状況	4
＊市民公開講座(小児成育医療支援室研修会)報告 本年度はW e b開催	5

相談状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R元年度
新規	6	11	12	31	18	22	23	11	18	13	16	16	197	212
総数	62	73	101	121	110	131	170	136	138	129	132	152	1455	1460

(2) 相談者住所

	新規	全体	R元年度
和歌山市	131	1076	1025
岩出市	16	137	139
紀の川市	5	60	66
県内その他	14	133	196
他府県	3	14	14
不明	28	35	20
合計	197	1455	1460

(3) 年齢別新規相談者数

	和歌山市	岩出市	紀の川市
未就園児	12	1	0
年少	10	1	1
年中	11	1	0
年長	8	1	0
小学校低学年	27	5	1
小学校高学年	34	2	2
中学生	17	5	1
高校生	3	0	0
不明	9	0	0
合計	131	16	5

(4) 相談対応回数（重複）

	電話相談	面接相談
小児科医	3	124
公認心理師・臨床心理士・学校心理士	452	1044
心理相談員	94	415
事務	4	0
合計	553	1583

(5) 相談経路

	和歌山市	岩出市	紀の川市
小学校	18	3	0
中学校	4	0	0
幼稚園	8	0	0
保育園(所)	3	0	0
認定こども園	0	0	0
5歳児相談	0	0	0
保健センター	8	1	0
院内紹介	6	1	1
院外医療機関	8	5	0
パンフレット・HP	21	3	2
知り合い	2	0	0
こども総合支援センター	8	0	0
児童相談所	1	0	0
家族	2	0	0
その他	26	1	1
不明	16	2	1
合計	131	16	5

(6) 新規相談者の内訳

	和歌山市	岩出市	紀の川市
知的面の遅れ	7	1	0
コミュニケーションの問題 (吃音含む)	14	0	1
学習の問題(知的除く)	10	0	1
注意欠陥・多動の問題	18	1	0
不登校・行き渋り	25	6	1
家庭の問題	3	1	1
強迫行為(抜毛)	2	0	0
不安行為(緘黙・分離不安・チック)	13	2	0
食行動の問題	4	2	0
排泄の問題	2	0	0
その他	13	1	0
電話相談	7	1	0
育児相談	13	1	1
いじめ	0	0	0
心身症	0	0	0
合計	131	16	5

(7) 小児成育医療支援室から小児科外来に紹介した内訳

自閉スペクトラム症	4 名
注意欠如多動症	4 名
知的能力障害	2 名
不登校	2 名
強迫症	1 名

(8) 小児成育医療支援室で行った検査

ウェクスラー式知能検査 (WISC—Ⅳ)	73 名
新版 K 式発達検査	2 名

関係機関との連携

- ・ 和歌山市要保護児童対策地域協議会サポート連絡会議
- ・ 和歌山市要保護児童対策地域協議会実務者会議
- ・ 和歌山市障害者地域生活支援協議会
- ・ 和歌山市子ども・子育て会議
- ・ 和歌山市健康わかやま 21 推進協議会
- ・ 和歌山県立医科大学附属病院子ども虐待対策検討会 (SCAN 会議)
- ・ 院内子ども虐待防止検討会

令和 2 年度 事業実施状況

事業名	日時	場所	内容	講師他	参加者
市民公開講座 小児成育医療支援 室研修会		支援室 ホーム ページで 公開	支援室事業報告 「和歌山県立医科大学小児成育医療支援室13年間の取り組み」	和歌山県立医科大学 小児成育医療支援学 講座 南 弘一	
			教育講演 「学校の『困った 子』の理解について」	和歌山県立医科大学 小児成育医療支援学 講座 津田祐子	
学会報告	8月18日	WEB開催	急性期にHSV-IgM抗体陽性を認め経過中にLeber遺伝性視神経症と診断した1例。（第62回日本小児神経学会学術集会）	小児成育医療支援学 南 弘一	
	11月4日	WEB開催	和歌山県立医科大学小児成育医療支援室13年間の取り組み（第67回日本小児保健協会学術集会）	小児成育医療支援学 南 弘一	
講演会		和歌山医 大同窓会 ホーム ページで 公開	第20回和歌山県地域医療フォーラム 2020 「これって発達障害？～学校で困っている子の背景には何がある？～」	小児成育医療支援学 津田祐子	
関係機関との連携	和歌山市要保護児童対策地域協議会サポート連絡会議 和歌山市要保護児童対策地域協議会実務者会議 和歌山市障害者地域生活支援協議会 和歌山市子ども・子育て会議 和歌山市健康わかやま21推進協議会 和歌山県立医科大学附属病院子ども虐待対策検討会（SCAN会議） 院内子ども虐待防止検討会				
その他	支援室リーフレット作成				

市民公開講座(小児成育医療支援室研修会)報告

2020年度
和歌山県立医科大学 小児成育医療支援室

市民公開講座 講演(録画)

和歌山県立医科大学 小児成育医療支援学
南 弘一

1

2020 第67回日本小児保健協会学術集会 一般演題 思春期支援 02-025

和歌山県立医科大学小児成育医療支援室 13年の取り組み

和歌山県立医科大学 小児成育医療支援室
南 弘一 津田祐子 鈴木啓之
和歌山県立医科大学 保健看護学部 柳川敏彦
愛徳医療福祉センター 永井尚子
和歌山市保健所 松浦英夫

2

日本小児保健協会 COI 開示

発表者名(筆頭演者): 南 弘一

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業等はありません。

3

小児成育医療支援室13年の歩み

- 平成18年4月 小児成育医療支援学講座が開講
(和歌山市受託講座)
- 平成18年5月 小児成育医療支援室で相談業務開始
- 平成20年4月 公立那賀病院で相談業務開始
(岩出市・紀の川市受託事業)
- 平成24年度 和歌山市5歳児相談事業開始
(和歌山市立幼稚園)
- 平成25年度 和歌山市5歳児相談事業拡張
和歌山市公私立幼稚園、公私立保育所(園)、こども園

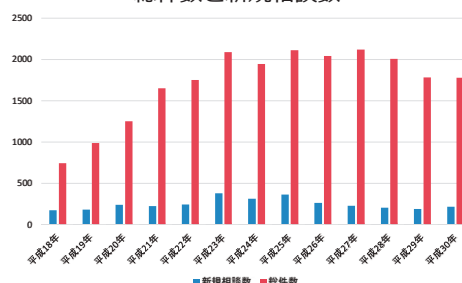
4

主な業務内容

- 和歌山医大 小児成育医療支援室での相談業務(週5日)
- 公立那賀病院での相談業務 週1回
- 和歌山市5歳児相談事業 和歌山市公私立幼稚園・保育所
(園)・認定こども園で、年長児の行動観察、保護者面談
→2019年度まで。2020年度は愛徳医療福祉センターに委託
- 和歌山医大小児科外来との連携

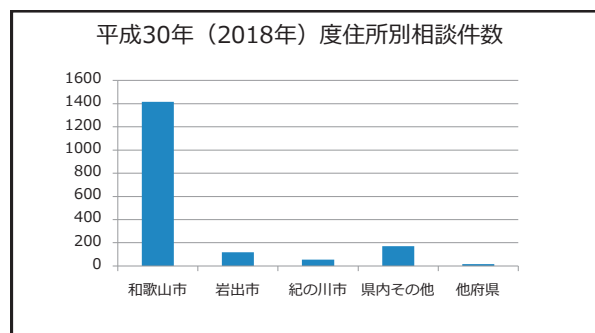
5

総件数と新規相談数



6

市民公開講座(小児成育医療支援室研修会)報告



7

平成30年（2018年）度新規相談者の内訳（和歌山市）

注意欠如・多動の問題	30
不登校・行き渋り	28
コミュニケーションの問題	24
不安行為	18
育児相談	15
知的面の遅れ	14
学習の問題	11
家庭の問題	8
(以下、省略)	
合計	183

(うち18名が小児科外来紹介)

8

平成30(2018)年度支援室から小児科外来に紹介した内訳

自閉スペクトラム症	6
注意欠如多動症	4
知的能力障害	3
不登校	2
過敏性腸症候群	1
選択的緘黙	1
起立性調節障害	1
計	18

9

5歳児（年長児）相談事業

・ 5歳児相談事業の目的

5歳児（年長児） … 集団活動が活発になり、就学に向けた重要な時期。
 … 家庭や集団での子どもの成長・発達を総合的に判断することが必要になる時期。

→ 子どもの成長について、周囲の理解を得るとともに、早期対応・支援を行う。

→ スムーズな就学につなげ、学校で安心して生活できる環境をつくる。

10

訪問前

- 保護者/担任記入の5歳児相談シート 配布と回収
- スクリーニング(保護者コメント/SDQチェックリスト)

当日 5～10月

- 訪問による行動観察
- 担任の先生や保護者の方との発達相談

訪問後～ 2月

- 気になる子どもへのフォローアップ(保護者への電話・発達相談・必要に応じて発達検査)
- 学校教育課への文書報告

心理士による行動評価

心理士によるアセスメント

11

平成27年度の5歳児相談対象数（参考）

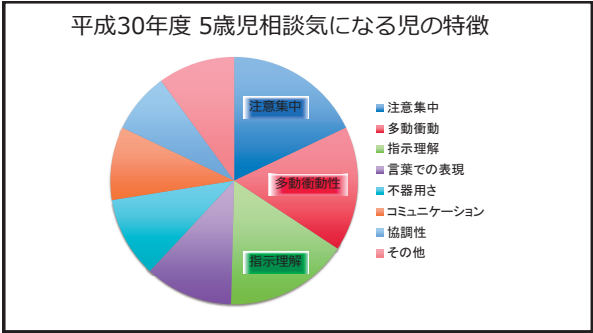
公立幼稚園	281名
私立幼稚園	1113名
公立保育所	295名
私立保育園	1002名
認定子ども園	169名
合計	2860名

12

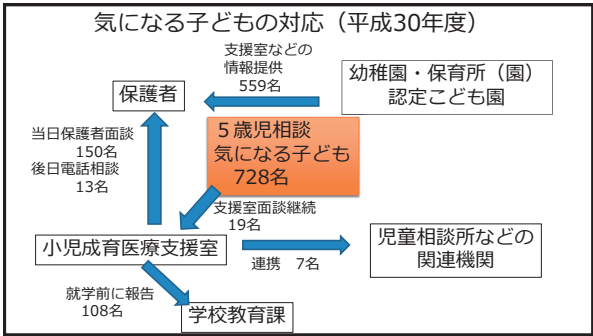
市民公開講座(小児成育医療支援室研修会)報告

平成30年度 観察後の対応					
	気になる子ども	先生と連携	当日保護者面談	後日対応	学校教育課への報告
幼稚園	342	264	70	9	45
保育所(園)	386	295	80	23	63
計(名)	728	559	150	32	108

13



14



15

- まとめ
- ・和歌山県立医科大学小児成育医療支援室は、大学と自治体が連携したシステムで13年間事業を行ってきた。
 - ・病院を中心とした相談業務は医療機関と密接に関与することで、サポートしやすい体制にある。
 - ・5歳時相談事業は、訪園と保護者面談により支援形態を広げることができた。
 - ・医療機関と自治体の連携で子どもを中心とした問題に取り組むことができる。

16

子ども達の健やかな成長・発達を願って！

小児成育医療支援室 (和歌山市 受託講座)

お子さんの発育・発達のこと、子育ての悩みなど、お子さんについてのご相談に応じます。

相談は無料です

医師、看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーによる相談を行います。お気軽にご相談ください。失礼は、お電話を！

お問い合わせ
公立大学法人 和歌山県立医科大学 小児成育医療支援室 (病院棟3階)
TEL・FAX.073-441-0808 (直通) TEL.073-447-2300 (内線) 2365, 2366
月～金 AM9:00～PM5:00 (土日・祭日・年末年始は除く)

17

【2020年度小児成育医療支援室 Web公開講座】

学校の『困った子』の 理解について (+発達障害の話を少し)

和歌山県立医科大学 小児科講師
(小児成育医療支援学講座)
津田 祐子

1

相談例

- 母「うちの子、とにかく『勉強嫌い』なんです。学校でもボーっとして、家での宿題もしたがりなくて...。」
(小学1年生)
→『勉強嫌い』と思われていた子
→診察・発達検査による評価で、「軽度知的障害」「発達性協調運動障害」と判明
- 母「友達に乱暴が多く、気分のムラもきつく扱いにくい。弟よりも自閉症がきついように思うのですが...。」
(小学2年生)
→初回診察時に、正面に座っただけで、きつい目になり物を投げつけてくる
→詳細な問診で、過去のDV（体験、目撃）が明らかに
→被害待児症候群、(+ADHD)

2

子どもの困った行動は、
実は『発達障害』からという
こともあるし、
『発達障害』と思われていて
も、別の要因が関係している
こともある
背景の特定は案外難しい...

3

本日の内容

1. 『発達障害』って耳にするようになったけど、どんなもの？
2. 困った行動をする子（周囲を困らせる子）は『発達障害』なの？
3. 行動の背景には何がある？
4. 対応策を考えるためのアセスメント

4

近年、『発達障害』という言葉は、ずいぶん知られるようになってきました。

5

障害名	障害特性からもたらされる子どもの困難
知的能力障害 (Intellectual Disabilities)	全体的に発達の遅れがあり、日常生活・社会生活で困難がある
自閉スペクトラム症 (autism spectrum disorder ; ASD)	友達とうまく関われない コミュニケーションが不得意である こだわりが強く気持ちのコントロールができない 感覚の過敏さや鈍さがあり、強い関心を示したり嫌がる
注意欠如多動症 (attention-desicit/hyperactivity disorder ; ADHD)	待つ・我慢が苦手 興味がないことには注意が持続せず気が散りやすい じっとしているのが苦手
限局性学習症 (learning disorder ; LD)	話はあるのに文章が読めない 文字は読めても正しく書けない 計算が苦手
発達性協調運動症 (developmental coordination disorder ; DCD)	手先が不器用 筆圧が弱すぎたり強すぎたりする ケンケンやスキップが苦手 姿勢が崩れやすい

6

▶『発達障害特性そのもの』でも、
行動の問題は生じることがある

しかし、

- ▶ **生活上の困難さ**
 - ▶ 集団での適応の難しさ
 - ▶ 学習の困難さ

↓

- ▶ 挫折や失敗の積み重ね
- ▶ 周囲からの叱責・否定的な評価
- ▶ 周囲の人との関係性の悪化
- ▶ 不安・緊張が非常に強い

うまく対応がなされないと...

**心身面への影響
人間関係への影響**

→『**二次障害**』として、**行動の問題**が生じることがある

7

逆に、「困った行動」から考えてみましょう。
学校でこんなお子さんいますよね...

8



9

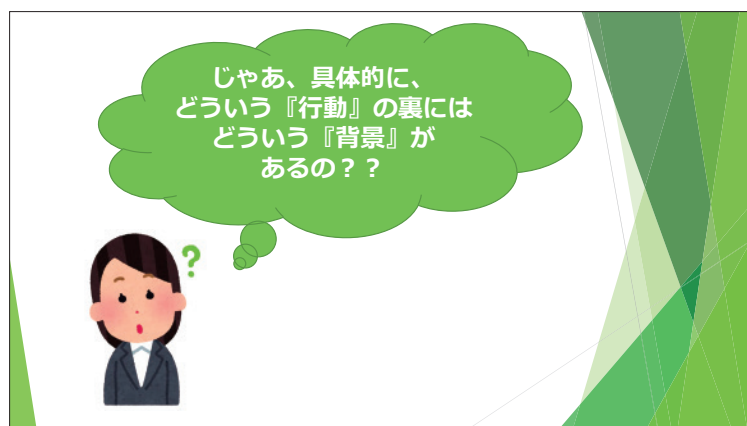
困った行動の背景はいろいろ

- ▶ 困った行動をする子 = 発達障害児??
= & ≠ 発達障害児, 発達障害+α
- ▶ お子さんによって、背景は様々
(その子自身に起因、周囲の環境が起因 などなど...)

「困った行動をする子」
= 「本人が『困り感』を持つ子」
の視点が大切！！

→ 背景をしっかりと見極めることが、解決には必要！！

10



11

ケース①
クラスメイトとトラブルになりやすい

- ▶ ちょっとしたことでもカッとしやすい(衝動性が高い)
→ ADHDかも? 自閉症かも?
- ▶ ルールを守らない子が許せない
→ 正義感が強いかも? 几帳面な性格? 自閉症かも?
- ▶ ちょっとかいを出しやすい
→ ADHDかも? 目立つことをして大人の気をひきたいのかも(愛着の問題)?
- ▶ 全般的にイライラして気分の荒れが目立つ
→ 環境の問題? (家庭生活の不安定?)
- ▶ クラスメイトに反感
→ クラス内の人間関係に問題? (クラス内で何らかの問題?)

発達?

愛着?

関係性?

12

ケース② 授業中うわのそら



- ▶ 一見聞いているように見えるが答えられない
→理解が追いついていないのかも（軽度知的障害）？
- ▶ 他のもの（教室の外の景色・物音など）に気をとられている
→ADHDかも？（注意散漫）
- ▶ 授業内容に興味がなく、自分の世界に入っている
→自閉症かも？ 理解が追いついていないのかも？
- ▶ ウウトウとしている
→睡眠不足かも？（家庭での過ごし方の問題）

理解？

不注意？

睡眠？

13

ケース③ いつもみんなの列に遅れる



- ▶ 指示が理解できてなくて
何をどうしたらいいのかわからない
→理解が弱い（軽度知的障害）かも？
- ▶ 指示が聞けていない（注意散漫）
→ADHDかも？
- ▶ 段取りよく行動するのが苦手、手惑う
→軽度知的障害かも？ ADHDかも？（段取り・計画苦手）
- ▶ 行動の切り替えが苦手、マイペース
→自閉症かも？（前にしていたことをパッとやめにくい）
のんびりな性格？

不注意？

理解？

マイペース？

14

ケース④ 人前で話せない



- ▶ 話すこと（表現すること）が苦手
→自閉症かも？ 軽度知的障害かも？
吃音かも？
- ▶ 過剰に緊張してしまう
→自閉症かも？ 敏感すぎる性格かも？（HSC）

*HSC（Highly Sensitive Child）…5人に1人？
敏感で繊細、感受性が高いなどの気質を生まれ持つ
「人いちばい敏感な子」

- a. 深く処理する（深く考え込む、深く読み取る、慎重）
- b. 過剰に刺激を受けやすい
- c. 共感性が強い
- d. ささいな刺激を察知する（ちょっとした変化に気づきやすい）

15

ケース⑤ 教室に入りにくい、学校へ行きたがらない



- ▶ 勉強についていけず、授業が楽しくない
→知的障害、発達障害（自閉症、LDなど）
- ▶ クラスでの人間関係でしんどさ
→いじめ？ 仲間関係の変化？
先生との関係性？
コミュニケーションの苦手さ？
- ▶ 学校の活動の何か（勉強、給食、体育など）で苦手意識が強い
→偏食、運動の苦手さ（協調運動障害）
- ▶ 朝起きにくく、定時に学校に行けない
→生活リズムの問題？ 起立性調節障害？

勉強？

関係性？

朝弱い？

16

ケース⑤
教室に入りにくい、学校へ行きたがらない

★本人にも「理由がわからない」
ことも多々ある！！

発達障害が
隠れていること
もあります！！

- ▶ 集団活動でストレスを感じやすい
(あわせることの苦手さ)
- ▶ ガヤガヤする声が苦手 (聴覚過敏?)
- ▶ 不安・緊張が強い

集団苦手?

感覚過敏?

- ▶ 気を遣いすぎて過度に疲れる (HSC?)
- ▶ 家庭内での問題

17

冰山モデル

子どもの行動

背景

- ・発達特性
- ・苦手からの回避
- ・周囲との関係の悪化
- ・環境／家庭の問題

様々な『困り』から生じる
『負の感情』『負の関係性』
が関係している

*発達障害や愛着障害などをもつ人々は、
誤解・叱責・いじめ・失敗を体験しやすい
*そのため傷つき、自信喪失、不自信、怒り等を抱えやすい
⇒問題行動 (二次障害)

18

どのように対応すればよいか...
⇒ アセスメントが大切です！！

① 何がこうさせている？

- ▶ 何かきっかけ、パターンはある？
- ▶ 環境や周囲の関わりに関わらず変化があったか？

② 本人にとっての行動の「意味」は？

- ▶ 何か目的があるのか？
- or 目的はないのか？

SOSサイン

承認欲求

回避行動

③ 行動の裏に潜む気持ちやニーズは？

- ▶ 本人はどんな気持ち？ 何か困ってる？
- ▶ その行動に対する周囲の反応で、何か得をしてる？

19

発達障害が疑われたら...

▶ アセスメントのために

- ▶ 発達検査、発達障害の評価ツール等による、
発達評価も、必要に応じて行う

→ スクールカウンセラー、医療機関 等で相談

当院の小児成育医療支援室

ひとりで抱え込まずに、
複数名で問題を共有し、
作戦をたてましょう！！



20

『困った行動』への対応

● 予防的アプローチ：
行動をアセスメントして
・本人の困りを知る
・困りに対する環境整備

● 行動変化のアプローチ：
▶ 好ましい行動 → 褒める
▶ 減らしたい行動 → 無視する
▶ 止める必要のある危険な行動 → 介入して止める、(罰)

★どんな時も、本人が自己肯定感を持てるような関わりは大切！
問題行動とは別に、得意なこと・頑張っていることを
しっかり褒め認めてあげる関わりやつなかりを忘れずに
→二次障害の軽減につながる

21

まとめ

- ▶ 困った行動をする子は、その子自身に「困っていること」があります。行動だけを修正しようとしてうまくいかないこともあります。
- ▶ 背景にある問題を丁寧にときほぐし、「本人が何に困っているのか」を把握すること、その「困り」をやわらげ、うまくいくように支援することが大切です。
- ▶ 発達障害のお子さんは「何に困っているのか」を本人・周囲も把握しにくいこともあります。専門家への相談は遠慮なく。
- ▶ どの子どもに対しても、自己肯定感を育むことができるような関わりを大切に。
- ▶ 協力してくれる人、相談できる人・支援してくれる機関はどんどん使いましょう。

22

子どもたちの健やかな成長・発達を願って！

和歌山県立医科大学

小児成育医療支援室

(和歌山市・岩出市・紀の川市受託講座)

お子さんの発育・発達のこと、子育ての悩みなど、
お子さんについてのご相談に応じます。

- 子どもの発達・行動・心理的な問題に関する相談
- 子どもの心身症・摂食障害などに関する相談
- 不登校など学校に関する相談
- 子育ての不安・悩みに関する相談
- 子どもの病気に関する相談



相談は
無料です

TEL・FAX(直通)

073-441-0808

ごあいさつ

小児成育医療支援室は『子どもたちの健やかな成長・発達を願って！』、平成18年5月に和歌山県立医科大学附属病院内に開設されました。

小児成育医療支援室では、子どもの心とからだに関する相談や子どもと家族に対する支援を行い、問題を早期に発見し、早期に支援する体制を作ることを目指しています。

子どもに関する「困った」、「どこに相談すればいいのだろう?」、「聞いてほしい」、「対応が知りたい」など、悩んでいらっしゃるがありましたら、お気軽にご利用ください。